



生涯活躍のまちについて討論するパネリストたち

生涯現役のまちへ一歩

CCRCシンポジウム

シンポジウム「八幡平市版CCRCの挑戦」が3月5日、西根地区市民センターで開催されました。

当日は、市内外から約150人が参加。県出身の小説家楡周平氏が「楽しい老後で何が悪い」と題し、自身の著書の紹介などを通して、高齢・過疎社会からの地方活性化をテーマに講演しました。そのほか、(株)三菱総合研究所の松田智生主席研究員が進行役を務め、田村市長らと市を生涯活躍のまちとして振興するための方策などを討論しました。

防災意識を笑いで伝播

第18回寺田コミセンまつり

第18回寺田コミセンまつりが3月12、13の両日、寺田コミュニティセンターで開催されました。

まつりでは、地区内サークルの舞台発表や創作物展示、屋台の出店などがあり多くの人でにぎわいました。

13日には、寺田喜劇団の団員約20人が、地区消防団活動と住民への防災に対する意識付けをテーマにした劇「赤色灯の絆」を公演。劇中の随所に笑いの要素を取り入れた団員たちの演技で、会場中は終始笑いであふれました。



クマ役の遠藤類君(1歳)の登場に会場が沸きました

地域活性のため一助を

盛岡法人会八幡平地区3支部合同講演会

盛岡法人会八幡平市地区3支部合同経済講演会が3月7日、新安比温泉静流閣で開催されました。

講演会には、市内法人経営者など約50人が出席。鹿児島県対馬市島おこし協働隊の谷川ももこ氏が「害獣駆除を地域活性化策に」と題して講演を行い、地域づくりのヒントとなり得る自身のこれまでの活動を紹介しました。参加者からは「同氏のアイデアと行動力を自分の取り組みの参考にしたい」との声が聞かれました。



被害対策を通じた島おこし活動のこれまでの語る谷川氏

未来の自衛隊員を激励

市自衛隊入隊(校)予定者激励会

市自衛隊入隊(校)予定者激励会が3月13日、市役所多目的ホール棟で行われました。

激励会には、市内出身の自衛隊入隊予定者を含む関係者約50人が出席。式典では、昨年入隊した先輩隊員から激励の言葉が送られたほか、入隊予定者を代表し、遠藤幸子さん(22)＝土沢＝が「八幡平市に生まれ育ったことに誇りを持ち、それぞれの目標に向かって前進し、皆さまから信頼される立派な自衛官になりたいです」と、決意を述べました。



入隊予定者を代表してあいさつする遠藤幸子さん(中央)

平笠裸参りを布で表現

さんとうやかえつ 三達屋珂悦さんが市に布絵を寄贈

3月3日、大更出身の布絵作家・三達屋珂悦(本名・伊藤達夫)さんから、平笠裸参りを描いた布絵が市に寄贈されました。

布絵は、第68回岩手芸術祭の工芸部門で部門賞を受賞した「塞の入り ～南部歳時記「平笠裸参り」～」。三達屋さんは「温かみのある布絵をぜひ皆さんにご覧いただきたいです」とあいさつし、田村正彦市長に布絵を手渡しました。寄贈いただいた布絵は、大更コミュニティセンターに展示されています。



布絵作者の三達屋珂悦さん(右)と田村正彦市長

郷土食材と地酒に舌鼓

郷土の新酒と食のゆうべ～2016～

「郷土の新酒と食のゆうべ～2016～」が2月26日、岩手山焼走り国際交流村で開催されました。

会には、市内外から約150人が来場。地酒「鷲の尾」や杜仲茶ポーク、八幡平サーモン、八幡平マッシュルーム、安比舞茸など市の特産物を使った料理がテーブルに並び、来場者の舌を楽しませました。また、ステージ上では、酒造りの際に歌われる「蔵人の唄」を(株)わしの尾の社員が披露するなどし、会場を一層盛り上げました。



「蔵人の唄」を披露するわしの尾社員の皆さん

すなっぷギャラリー



全校生徒で取り組む伝統の八幡平太鼓を披露する卒業生(3月18日、柏台小学校卒業式)



在校生が作ったアーチを抜けて校舎を去る卒業生(3月18日、寺田小学校卒業式)



いわてまるごとおもてなし隊が台湾へのチャーター便をPRに市役所を訪問(3月14日)



限定のにごり酒や酒器などの販売が行われた酒と肴の器百選(2月28日、わしの尾母屋)



防災フェスタでは放水体験に人気が集まりました(3月6日、八幡平消防署)